

宇都宮ブレックスのBプレミア参入審査に向けた対応について

令和6年8月1日（木）
魅力創造部 スポーツ都市推進課

1 (株)栃木ブレックスから本市への協力依頼について

1 (株)栃木ブレックスから本市への協力依頼について

7月11日（木）に(株)栃木ブレックスの藤本光正代表取締役社長が市長を訪問し、書面提出により以下のとおり新アリーナに係る状況の報告及び本市への協力依頼があった。

(株)栃木ブレックスからの協力依頼文（抜粋）

- ・ 新アリーナ整備に向けて、様々な関係企業・団体と検討を進めてまいりましたが、昨今の建設工事費の高騰や建設業の需給逼迫などの外的な要因が影響し、本年10月にBリーグが実施するBプレミア参入審査までに、関係企業等との合意を経て「新アリーナ構想」を策定することが困難であることが判明いたしました。
- ・ 貴市には、新アリーナ整備の実現に向けて、綿密な意見交換を経て、都市計画法や建築基準法などの法令上の対応に関する助言や、個人版・企業版ふるさと納税制度の活用に向けた「スポーツ都市推進基金」の設立、さらには、施設の整備・運営における貴市独自の支援策の検討など、様々な面から支援していただき、大変感謝しております。
- ・ 新アリーナの実現に向けては引き続き取り組んでまいりますが、当社にとりましては、今後もトップリーグで活動するためにBプレミア参入審査に合格することが最優先事項であります。
- ・ 当社といたしましても、引き続きトップリーグで活動し、まちづくりのパートナーとして貴市の発展に寄与していきたいと考えておりますことから、Bプレミア参入審査の合格に向けて、ホームアリーナであるブレックスアリーナ宇都宮（宇都宮市体育館）をBプレミア参入審査基準が充足できるよう改修することについて、貴市にご協力いただきますよう、お願いいたします。

2 (株)栃木ブレックスから本市への協力依頼に対しての 本市の考え方

2 (株)栃木ブレックスから本市への協力依頼に対しての本市の考え方

【スポーツを活用したまちづくりの推進に向けた本市の基本的な考え方】

- ・ 本市では、「スポーツを活用したまちづくり推進ビジョン」において、**ライトライン沿線を「東部スポーツウェルネスライン」として打ち出し、スポーツを活用したまちづくりに向けた基盤として強化することとしている。**
- ・ また、宇都宮ブレックスが本市をホームタウンとして活躍することにより、交流人口の拡大やシビックプライドの醸成、青少年の健全育成などに加え、年間約16億円以上の経済効果があるなど、様々な効果がもたらされているところであり、今後も引き続き**宇都宮ブレックスがトップリーグで活躍することは、本市にとっても、これらの効果の維持・向上が期待できる。**

2 (株)栃木ブレックスから本市への協力依頼に対しての本市の考え方

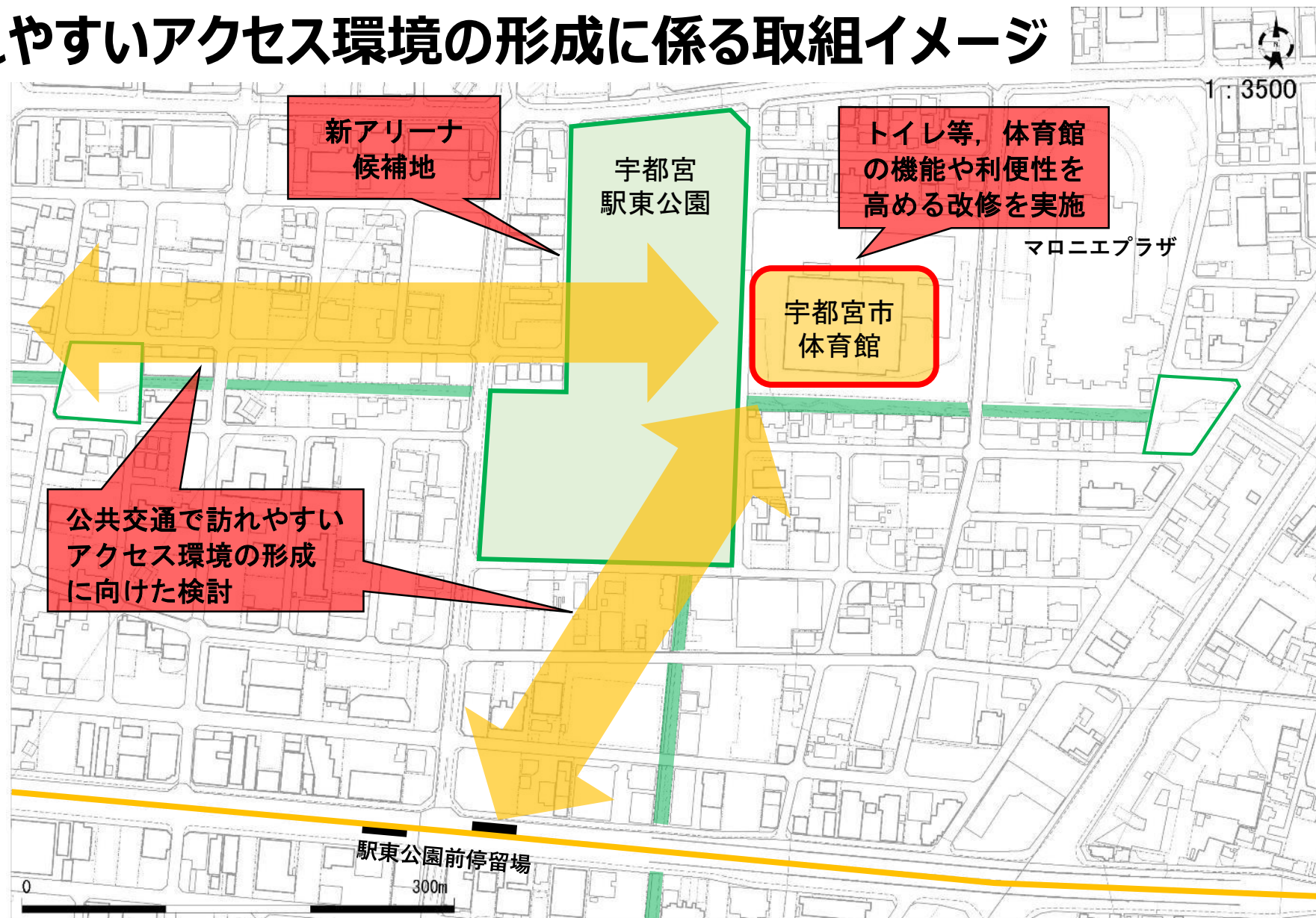
【市体育館の改修に当たっての本市としての考え方】

- ・ 今回、ブレックスから改修の依頼があった市体育館は「東部スポーツウェルネスライン」を構成する重要な施設であり、本市が目指す「する」「みる」スポーツの環境の向上をはじめ、本市経済・地域の活性化や市民のウェルビーイングの実現に大きく寄与する施設であることから、「市体育館の機能や利用者の利便性を高める改修」については施設所有者として市が実施する。
- ・ 施設の改修に際しては、公共交通により訪れやすいアクセス環境の形成として、JR宇都宮駅やライトライン駅東公園前停留場からの歩行空間の魅力向上などの検討も進めていく。
- ・ なお、ブレックスが引き続き検討していく新アリーナの整備については、更なる交流人口の拡大やシビックプライドの醸成などにつながることから、引き続き、本市として最大限の支援を行っていく。

2 (株)栃木ブレックスから本市への協力依頼に対しての本市の考え方

公共交通により訪れやすいアクセス環境の形成に係る取組イメージ

至 JR宇都宮駅



3 市体育館の改修内容について

3 市体育館の改修内容について

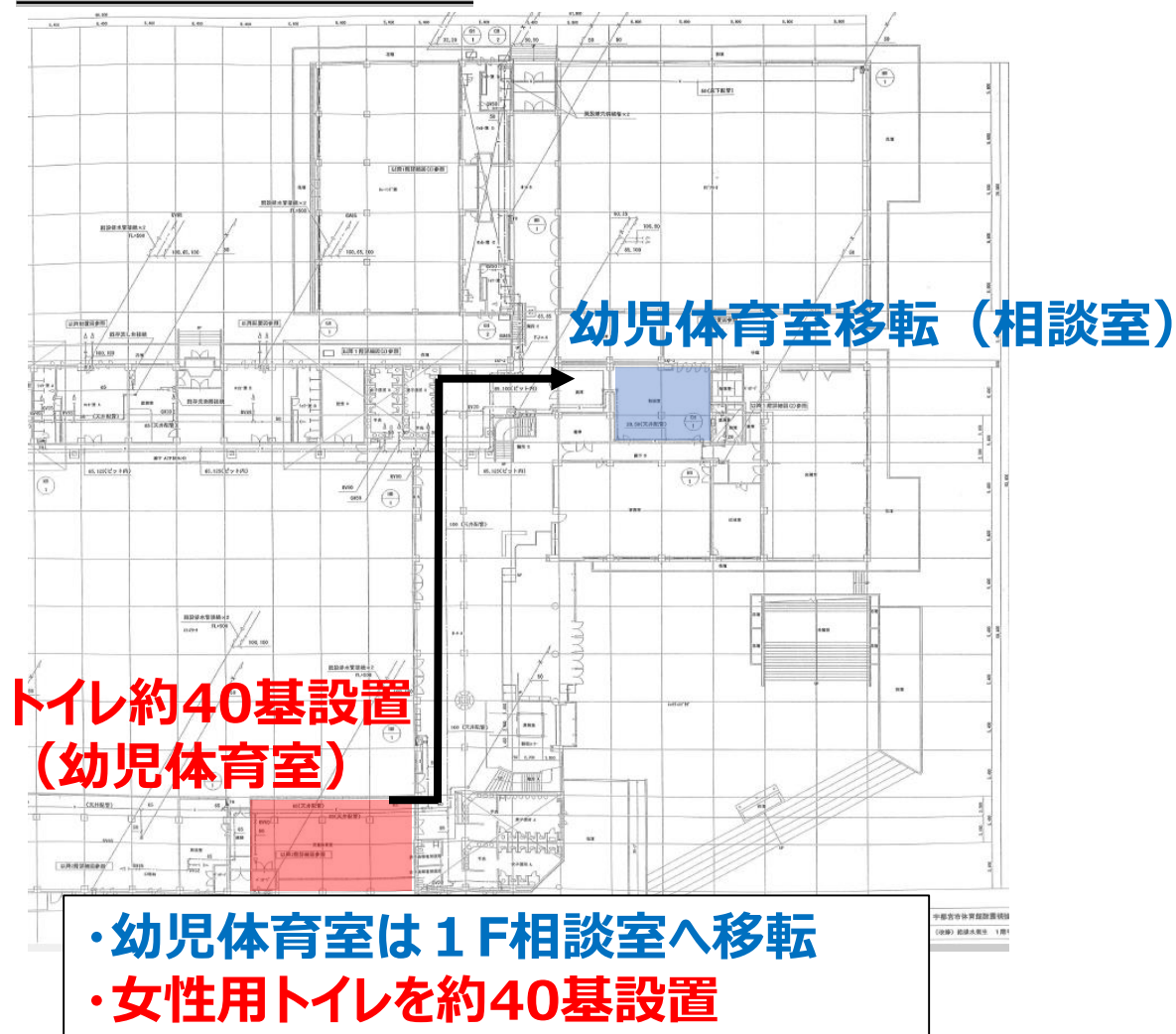
【Bプレミア参入審査のアリーナ基準を充足するために必要な改修内容】

新プレミア参入審査における主なアリーナ基準		市体育館（ブックスアリーナ宇都宮）の状況
入場可能数	・5,000席以上の観客席数 （立見席数は入場可能数の10%まで）	観客席数 5,012席 （座席4,518席, 立見席494席）
スイート	・入場可能数の2%以上が利用可能な席 ・原則居室化されたスペース・席 （3方向が囲われていること）	なし 100席を有する居室の設置が必要
ラウンジ	・スイートを含め入場可能数の5%以上が利用できるスペース	なし スイートを含め250人が利用できるスペースが必要
常設 飲食施設 スペース	・観客向けの飲食物販売を行う常設の施設スペース	なし 新たに常設飲食施設スペースの整備が必要 （カウンターテーブルの設置, 「売店」の表示）
トイレ	・入場可能数5,000人までは3%, 5,000人を超える人数に関しては2%必要 （選手・関係者専用のトイレは除く）	7 1 基あり 80基必要（合計151基）

3 市体育館の改修内容について

【具体的な改修内容】

宇都宮市体育館 1F



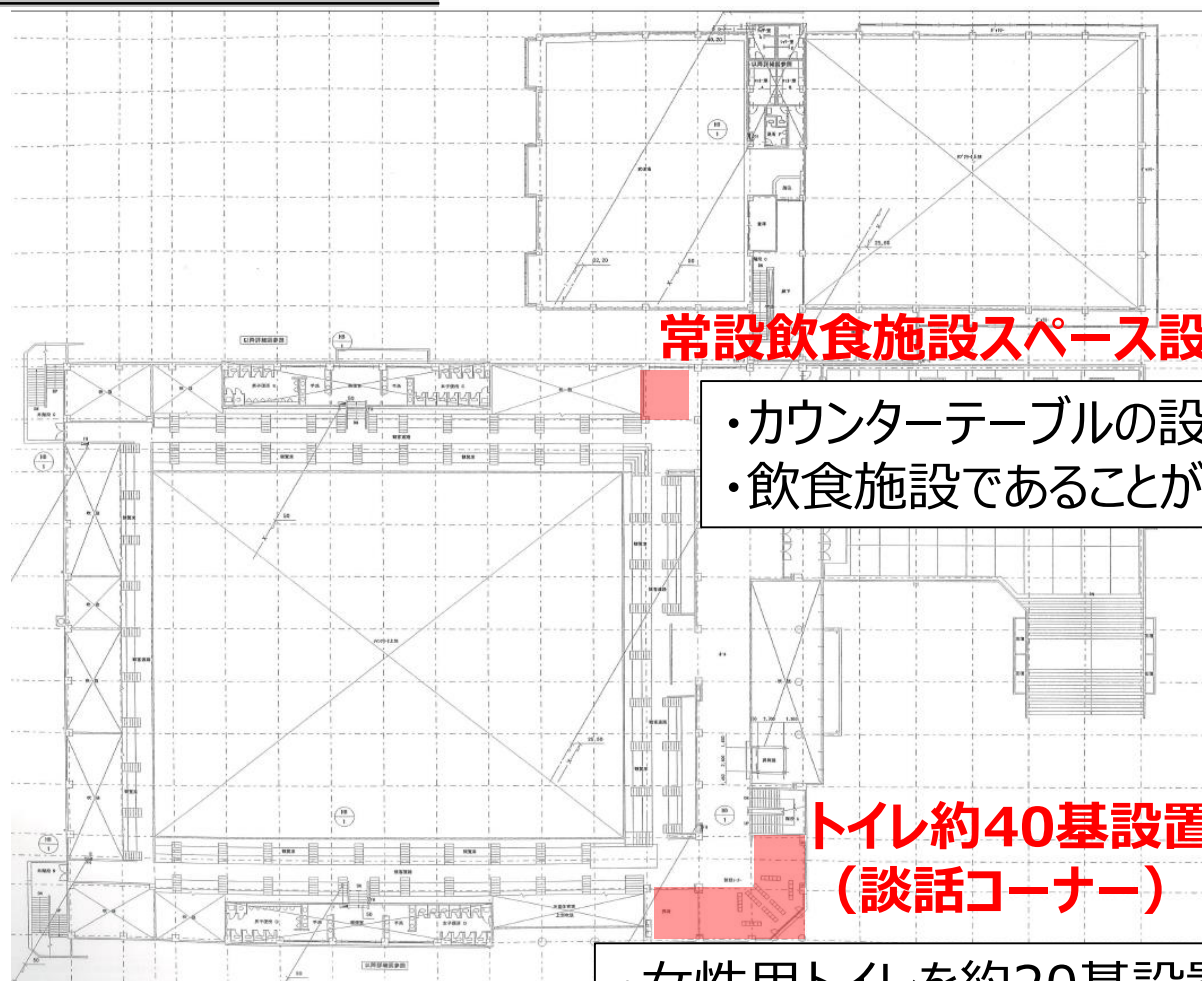
幼児体育室の現況



3 市体育館の改修内容について

【具体的な改修内容】

宇都宮市体育館 2F



常設飲食施設スペース設置

- ・カウンターテーブルの設置
- ・飲食施設であることが分かる表示

トイレ約40基設置 (談話コーナー)

- ・女性用トイレを約20基設置
- ・男性用トイレを約20基設置

常設飲食施設スペースのイメージ

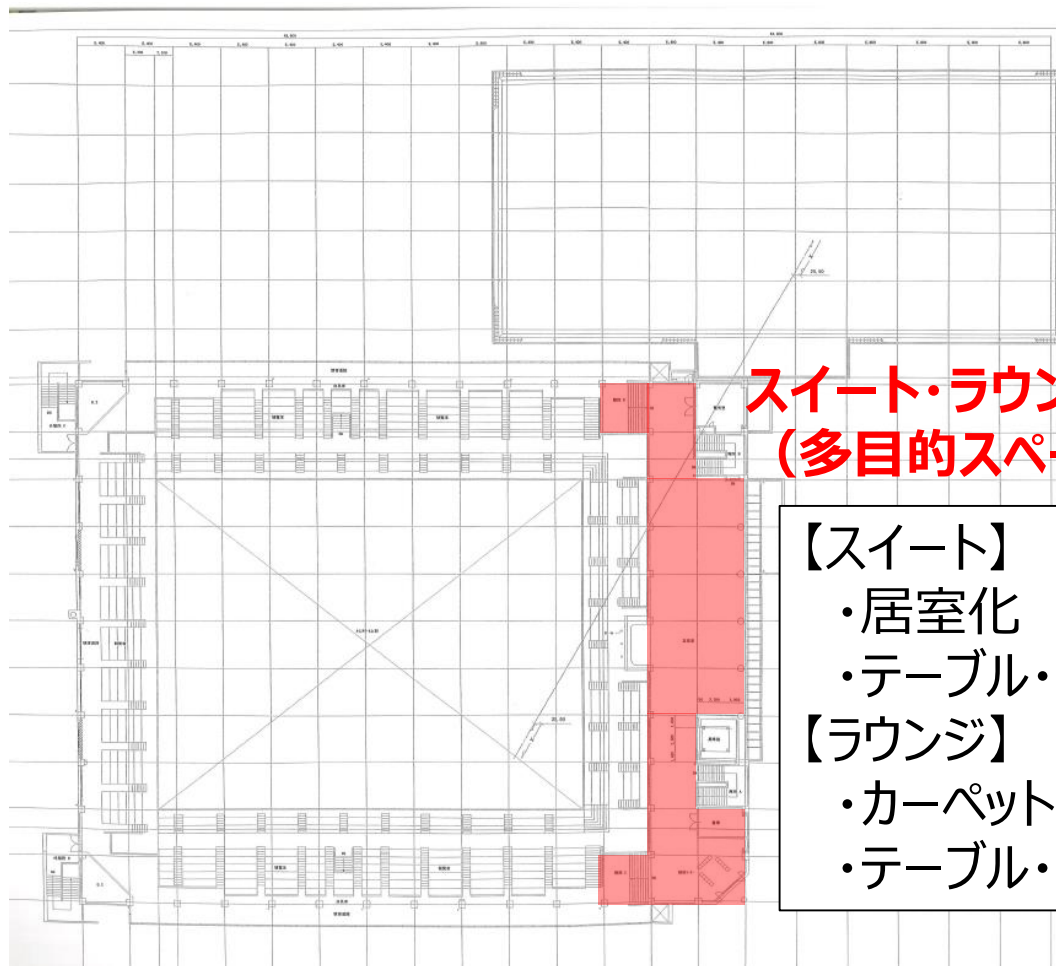


(オープンハウスアリーナ太田)

3 市体育館の改修内容について

【具体的な改修内容】

宇都宮市体育館 3F



**スイート・ラウンジ設置
(多目的スペース)**

【スイート】

- ・居室化（壁の設置）
- ・テーブル・座席の設置

【ラウンジ】

- ・カーペットの設置，柱や天井等の装飾
- ・テーブル・イスの設置

スイートのイメージ



(川崎市とどろきアリーナ)

ラウンジのイメージ



(オープンハウスアリーナ太田)

3 市体育館の改修内容について

【本市の対応】

(株)栃木ブレックスとの協議を経て整理した市体育館の改修内容は、**全て「市体育館の機能や利用者の利便性」を高め、「する」「みる」スポーツの環境の向上などに寄与するものであることから、市が改修する。**

また、当該改修は、改修内容がBプレミア参入基準を充足するものかどうかBリーグに適宜確認しながら進める必要があることから、**改修工事の手続は「(株)栃木ブレックス」に委任することとする。**

なお、工事の手続は、**施工業者を公募により選定するなど、本市の手続に準ずることとする。**

※ 令和7年度の改修を予定(市体育館を休館しないことを前提)

【改修費用（概算）】

Bプレミア参入基準の充足に向けた改修（スイート、ラウンジ、常設飲食施設スペース、トイレの設置）及び幼児体育室の移転に要する費用の総額は、**概算で約3億円**となる見込み

※ 改修費用に係る議案については、9月議会において提出予定

4 今後のスケジュールについて

4 今後のスケジュール（Bプレミア参入審査まで）について

8月	9月	10月
▼議員協議会（8/1） ▼(株)栃木ブレックスと市による 共同記者会見（8/1）	▼9月議会議案の提出（改修費用に係る予算） ▼改修工事施工業者の決定	▼Bプレミア参入審査 書類の提出 （9月末） Bプレミア 参入審査